

黒田(宮澤)九萬男

出身地：香川県讃岐国那珂郡丸亀町大字風袋町

経歴：

明治 29(1896)年 4 月 28 日 —5 月 8 日	水産伝習所第九回生宮澤九萬男、千葉県富津村漁業調査(現存する最古の漁業調査報告書)
明治 29(1896)年 9 月	宮澤九萬男、水産伝習所第 9 回生漁撈科卒業
明治 32(1899)年	遠洋漁業練習生として帝國水産(株)所有船第一千島丸乗船、鮪漁業研究の為越後沿海出漁
明治 33(1900)年	遠洋漁業練習生として占守丸事務長として鮪漁出帆
明治 33(1900)年 7 月	水産講習所遠洋漁業練習科卒業。水産講習所就職。新造帆船設計に従事
明治 34(1901)年 1 月	水産講習所嘱託
明治 34(1901)年	快鷹丸運転士、漁撈長、技手
明治 34(1901)年 —明治 36(1903)年	宮澤九萬男、黒田九萬男に改姓
明治 40(1907)年 9 月 9 日	朝鮮迎日湾頭にて快鷹丸遭難。教官として乗船。九死に一生を得る
明治 41(1908)年 —明治 42(1909)年	黒田九萬男は上枝平五郎と共に大阪鉄工所櫻島造船所に派遣され、現場監督として雲鷹丸建造に従事。
明治 42(1909)年 10 月 27 日	水産講習所技師に任官 ^{注1}
大正 2(1913)年 5 月 30 日	水産講習所技師黒田九萬男休職を命ぜらる ^{注2} 職員更に減員の為、同人を退官させる。然るに同人は雲鷹丸にて朝鮮海方面に在るので辞表提出不可能の為、休職を命じ帰所の上論旨退官
大正 2(1913)年 9 月 11 日 —大正 7(1918)年	東北帝國大學農科大學水産學科講師 航海術・運用術担当
大正 6(1917)年 11 月 28 日	東北帝國大學農科大學水産學科教授に任官 ^{注3}
大正 7(1918)年 —大正 7(1918)年 3 月 31 日	東北帝國大學農科大學水産學科教授 航海術・運用術担当

^{注1} 国立公文書館所蔵文書、請求番号「任 B00553100」、件名番号「064」、件名「京都帝国大学法科大学助教授市村光恵外三名任官ノ件○京都帝国大学法科大学助教授市村光恵外一名同大学外一校教授ニ任官、水産講習所技手黒田九万男外一名水産講習所技師ニ任官」

^{注2} 国立公文書館所蔵文書、請求番号「任 B00678100」、件名番号「007」、件名「水産講習所技師黒田九万男休職並賞与ノ件」

^{注3} 国立公文書館所蔵文書、請求番号「任 B00827100」、件名番号「021」、件名「黒田九万男外八名任官ノ件」

大正 7(1918)年 4 月 1 日 —大正 9(1920)年 11 月 4 日	北海道帝國大學農科大學附屬水産専門部教授 航海術・運用術担当
大正 9(1920)年	「露領沿海州水産業視察復命書」提出・刊行
大正 10(1921)年	陸軍省嘱託
大正 10(1921)年 10 月 25 日	農商務技師高等官五等に任叙す ^{注4}
大正 11(1922)年 6 月頃	農商務技師
大正 12(1923)年	伏見宮宮務監督兼華頂宮宮務監督
昭和 2(1927)年 5 月 1 日	農林省水産局漁政課・技師黒田九萬男は 4 月 26 日出張、4 月 30 日佐賀県唐津で農林省所属漁業監視船速鳥丸に乗船、速鳥丸はトロール漁業取締及び漁業調査のため渤海に向け出港。翌日暴風雨に遭遇、5 月 1 日 20 時 55 分朝鮮済州島南東端の暗礁に擱座転覆した。乗組員 123 名中 22 が犠牲となった。黒田九萬男(享年 53 歳)と田平忠太郎の遺体は収容出来なかった。なお、唐津公園に速鳥丸殉職者追悼碑がある ^{注5}

参考文献：

水産同窓會誌 1-2,4-7,9-10 号 (1899-1902)

水産講習所一覽 明治 31 年 4 月—明治 35 年 3 月、明治 36 年 7 月—明治 40 年 6 月、
明治 41 年 7 月—明治 45 年 6 月

大正 1 年 7 月—大正 2 年 6 月、大正 3 年 7 月—大正 8 年 3 月

大正 9 年(大正 8 年 4 月以降)、大正 10 年、大正 12-15 年

昭和 2-3 年

水産界 436-553 号 (1919-1928)

東京水産大學七十年史 (東京水産大学創立七十周年記念会, 1961)

黒肱善雄 (1975) 農林省船舶小史 (1) 東海区水産研究所業績 C 集 さかな (14):39-47

北大百年史 部局史 (ぎょうせい, 1980)

北大百年史 通説 (ぎょうせい, 1982)

北大水産学部七十五年史 (北海道大学水産学部, 1982)

新聞集成昭和編年史 昭和 2 年度版 2 (明治大正昭和新聞研究会, 1988) p.368

^{注4} 国立公文書館所蔵文書、請求番号「任 B01011100」、件名番号「030」、件名「黒田九萬男外一名任免ノ件」

^{注5} 新聞集成昭和編年史 昭和 2 年度版 2(明治大正昭和新聞研究会, 1988) p.368 東京日日新聞、昭和 2 年 5 月 4 日の記事による。新聞記事によれば農林省の正式発表なし。記事中の「黒田熊雄」は水産界 535 号(1927):397-398 の「速鳥丸の遭難」によれば「黒田九萬男」が正しい。なお、「農林省職員録、大正 15 年 10 月 20 日現在」によれば黒田九萬男は水産庁漁政課に在職